

証券業界におけるSDGs推進に関する取組み【懇談会・分科会の設置】

目的

SDGsで掲げられている社会的な課題に積極的に取り組んでいくため、本協会会長の諮問機関として『証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会』を設置(9月19日)

SDGsの推進に関する懇談会

座長: 日本証券業協会会長 / 構成: 有識者及び協会員

貧困、飢餓をなくし地球環境を守る 分科会

- インパクト・インベストメント(ワクチン債、ウオーターボンド、グリーンボンド等の組成・販売など)やESG投資など
- さらに貢献できる可能性について検討

働きがいのある働き方そして 女性活躍支援分科会

- 生産性の向上や働きがいのある職場環境の整備、女性雇用の推進、女性管理職の育成など
- 証券業界における生産的な雇用とディーセント・ワークの達成について検討

社会的弱者への教育支援に関する 分科会

- 父子家庭、母子家庭、両親のいない子供等への資金援助、ボランティアなどについて
- さらに具体的な活動について検討

日程

- ・10月中旬に第一回目の懇談会を開催予定
- ・分科会は懇談会実施後、適宜開催



JSDA

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

グリーンボンドセミナー「グリーンボンド 及び社会貢献債市場の発展-アジアの 展望」の開催について

2017年9月20日
日本証券業協会

資料 3-1

1. グリーンボンドセミナー開催趣旨

欧州におけるESG投資への関心の高まりを踏まえ、国際資本市場協会(ICMA(※1))は、グリーンボンドに関する原則(GBP)の策定等(※2,3)を通じ、その普及、発展に努めている。

この一環として、ICMAでは、GBPの更新、管理等のためのガバナンス体制(Executive CommitteeやSteering Committeeを組織)を構築しているほか、グリーンボンドに関する年次会合を欧州で過去3回(※3)開催しており、直近(本年6月)のパリ会合には600名程度が参加した。

今般、ICMAから、1)グリーンボンド及び社会貢献債の発展を周知すること、2)日本及びアジアにおけるこれら債券の市場参加者との緊密な対話を行うことを主目的に、同種会合をアジア域内で初めて東京で開催したいとして、本協会に協力要請があった。

- ※1 ICMAは欧州を中心に世界約60カ国500の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。スイス及び英国当局から自主規制機関と認められている。本協会との間で2008年1月、相互協力に関する覚書(MoU)を締結し、2008年、2013年、2015年及び2017年に日本証券サミット(いずれもロンドンで開催)を共催した。
- ※2 ICMAのグリーンボンド原則では、グリーンボンドに関し、①調達資金の使途、②プロジェクトの評価・選定のプロセス、③調達資金の管理、④報告、⑤外部評価について準拠されるべきガイドラインを定めている。
- ※3 ICMAでは、社会貢献債に関する原則(SBP)及びサステイナブルボンドに関するガイドライン(SBG)も策定している。
- ※4 2015年3月及び2016年6月:ロンドン、2017年6月:パリ

2. グリーンボンドセミナーの概要

1) 主催機関	国際資本市場協会(ICMA)
2) 共催機関	日本証券業協会
3) 開催日時	11月2日(木)10時-17時15分 (終了後、ネットワーキング・レセプションを開催)
4) 会場	東京 虎ノ門ヒルズ 森タワー5F ホールA (東京都港区虎ノ門1-23-3)
5) 対象聴衆	発行会社、銀行、証券会社、(機関)投資家等400名前後 (アジア全域から集客)
6) 協力機関	世界銀行、国際金融公社(IFC)、日本取引所グループ (JPX)、投資信託協会及び投資顧問業協会
7) 参加費	無料
8) 通訳	日英同時通訳

3. プログラム案(1)

プログラム(9月13日現在)

09:15	受付、ウェルカム・コーヒー・サービス
10:00	歓迎・開会の挨拶 日本証券業協会 会長 鈴木 茂晴
10:05	歓迎基調講演：アジアーGBP（グリーンボンド原則）にとっての戦略的地域 国際資本市場協会(ICMA) チーフ・エグゼクティブ マーティン・シェック 氏
10:10	GBP－最近の発展と2017年～2018年の展望 モデレーター：国際資本市場協会(ICMA) 市場慣行及び規制政策担当ディレクター ピーター・ムンロ 氏 パネリスト： メリルリンチ日本証券 取締役 林 礼子 氏 Mirova シニア・ポートフォリオ・マネージャー クリス・ウィグレイ 氏 三菱東京UFJ銀行 ストラクチャードファイナンス部 プロジェクト環境室 室長 山崎 周 氏 (他調整中)
11:00	コーヒー＆ネットワーキング ブレイク
時間 調整中	基調講演 東京都知事 小池 百合子 氏

3. プログラム案(2)

プログラム(9月13日現在)

11:45	基調講演：日本のグリーンボンド ガイドライン 環境省 大臣官房 環境経済課 課長 奥山 祐矢 氏
12:00	パネル・ディスカッション：日本市場－実績と展望 モデレーター：世界銀行 財務局 駐日代表 有馬 良行 氏 パネリスト： 日本政策投資銀行 財務部長(国際統括部付) 加藤 裕幸 氏 日本生命 取締役 執行役員 大関 洋 氏 モルガン・スタンレー デット・キャピタル・マーケット(日本)& サステナビリティ債(アジア)ヘッド マネージング・ディレクター 荻原 正典 氏 大和証券 デット・キャピタルマーケット部 海外オリジネーション課 ディレクター 徳田 健 氏 (他調整中)
13:00	昼食
14:00	基調講演：中国のグリーンボンド市場 上海グリーンファイナンス委員会 事務局長 コン・ウェイ 氏

3. プログラム案(3)

プログラム(9月13日現在)

14:10	パネル・ディスカッション：グリーンボンド市場の将来のダイナミズム モデレーター：気候債券イニシアティブ CEO兼共同創業者 シーン・キドニー 氏 パネリスト： クレディ・アグリコル・CIB サステナブル・ファイナンス ヘッド / GBP運営理事会メンバー タンギー・クラキン 氏 大和総研 調査本部 主席研究員 / JSIF 共同代表理事・事務局長 河口 真理子 氏 欧州投資銀行(EIB) ユーロ・ファンディング 副ヘッド アルド・ロマーニ 氏 中国グリーンファイナンス委員会 副事務局長 ワン・ヤオ 氏 (他調整中)
15:00	基調講演：アジア新興国における市場創設 アジア開発銀行 財務局長 ピエール・ヴァン・ペテゲム 氏
15:15	基調講演 経済協力開発機構(OECD) 事務次長 河野 正道 氏
15:25	パネル・ディスカッション：社会貢献債及びサステナビリティ債市場の潮流 モデレーター：国際金融公社(IFC) インベスター・リレーションズ・ヘッド エッセー・デニス・オダロ 氏 パネリスト： ノルデア サステナブル・ファイナンス ヘッド サーシャ・ベスリック 氏 国際金融ファシリティ(IFFIm) 理事長 ルネ・カーセンティ 氏 PRI ジャパンヘッド グローバルネットワーク&アウトリーチ 森澤 充世 氏 国際協力機構(JICA) 財務部 市場資金課 課長 田中 賢子 氏 (他調整中)

3. プログラム案(4)

プログラム(9月13日現在)

16:15	パネル・ディスカッション：外部評価－アジアにおける現行実務及び市場の見通し モデレーター：国際資本市場協会(ICMA) アジア事務所代表 ムスターク・カパス 氏 パネリスト： 日本総合研究所 理事 ESGリサーチセンター長 足達 英一郎 氏 ムーディーズ アジア大洋州コーポレート・パブリック・プロジェクト&インフラストラクチャー・ファイナンス マネージング・ディレクター ブライアン・ケーヒル 氏 気候債券イニシアチブ 認定担当ヘッド ロブ・ファウラー 氏 サステナリティクス 機関投資家関係担当取締役 ジェームズ・ホリラック 氏 S&Pグローバル・レーティング ESG調査・分析部門 ヘッド マルチナ・マクファーソン氏 (他調整中)
17:05	閉会基調講演 マレーシア証券委員会 コーポレートファイナンス&インベストメンツ マネージング・ディレクター / ASEAN資本市場フォーラム グリーンファイナンス・ワーキンググループ 共同議長 ユージーン・ウォン 氏
17:15	ネットワーキング・レセプション



JSDA

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

アジア証券人フォーラム 第22回年次総会(東京)の開催について

2017年9月20日
日本証券業協会

資料 3-2

1. ASF年次総会の開催について

アジア証券人フォーラム(Asia Securities Forum: ASF)は、1995年に本協会の提唱により創設され、以後年次総会の開催等を通じて、アジア大洋州地域の証券業界の意見・情報交換の場として機能している。本協会は、ASFの創設以来常任事務局として、同フォーラムの運営をサポートしている。

ASFの年次総会では、ゲスト・スピーカーによる基調講演、メンバーによる各市場・業界の報告、アジア地域の証券市場共通の課題に関するパネル・ディスカッションが概ね2日程度にわたり行われ、多くの場合主催団体の会員会社、開催地の市場関係者等もオブザーバーとして参加する。

また、ASFの活動の一環として、本協会では、2006年よりアジア諸国の自主規制機関、業界団体、規制当局等のスタッフ育成を目的として、東京で研修セミナー(ASF東京ラウンドテーブル)を開催している。

本協会は、ASF創設時に、3年に1回程度年次総会を日本で開催する旨申し出ており、95年に東京(創立総会)、98年に神戸、2000年に東京、05年に京都、11年に大阪で総会を開催している。16年のマニラ総会において、17年に東京で総会を開催することがメンバー間で合意され、調整の結果下記のとおり開催する運びとなった。(ASFの概要、プログラム案は別紙参照)

記

会 議 名 : 第22回 アジア証券人フォーラム年次総会
日 時 : 平成29年11月26日(日)~28日(火)

会 場 : ホテルニューオータニ

メインテーマ : Ways for building a sustainable future
(持続可能な未来を構築する)

以 上

2. ASFの概要(1)

会議名	アジア証券人フォーラム Asia Securities Forum (ASF)																																		
設立目的	アジア・オセアニア地域の証券業界の意見・情報交換、同地域の証券市場の発展と経済成長への寄与																																		
設立時期	1995年(本協会の提唱により設立)																																		
参加者	アジア・オセアニア地域の証券業協会の代表者等が出席 (メンバー団体) <table> <tr> <td>アジア</td><td>アジア証券業金融市場協会 (ASIFMA) 国際資本市場協会(ICMA)アジア太平洋地域事務所</td></tr> <tr> <td>豪州</td><td>豪州金融市場協会 (AFMA)</td></tr> <tr> <td>中国</td><td>中国証券業協会 (SAC)</td></tr> <tr> <td>台湾</td><td>台湾証券業協会 (CTSA)</td></tr> <tr> <td>インド</td><td>インド証券取引所参加者協会 (ANMI) ボンベイ証券取引所参加者協会 (BBF)</td></tr> <tr> <td>インドネシア</td><td>インドネシア証券業協会 (APEI)</td></tr> <tr> <td>日本</td><td>日本証券業協会 (JSDA)</td></tr> <tr> <td>韓国</td><td>韓国金融投資協会 (KOFIA)</td></tr> <tr> <td>マレーシア</td><td>マレーシア証券業協会 (ASCM)</td></tr> <tr> <td>モンゴル</td><td>モンゴル証券業協会 (MASD)</td></tr> <tr> <td>ニュージーランド</td><td>ニュージーランド金融市場協会 (NZFMA)</td></tr> <tr> <td>フィリピン</td><td>フィリピン証券業協会 (PASBDI)</td></tr> <tr> <td>タイ</td><td>タイ証券業協会 (ASCO) タイ債券市場協会(ThaiBMA)</td></tr> <tr> <td>トルコ</td><td>トルコ資本市場協会 (TCMA)</td></tr> <tr> <td>ベトナム</td><td>ベトナム証券業協会 (VASB) ベトナム債券市場協会 (VBMA)</td></tr> <tr> <td>イラン</td><td>イラン証券取引仲介者協会(SEBA) *新規加入</td></tr> <tr> <td>シンガポール</td><td>シンガポール証券業協会(SAS) *新規加入</td></tr> </table>	アジア	アジア証券業金融市場協会 (ASIFMA) 国際資本市場協会(ICMA)アジア太平洋地域事務所	豪州	豪州金融市場協会 (AFMA)	中国	中国証券業協会 (SAC)	台湾	台湾証券業協会 (CTSA)	インド	インド証券取引所参加者協会 (ANMI) ボンベイ証券取引所参加者協会 (BBF)	インドネシア	インドネシア証券業協会 (APEI)	日本	日本証券業協会 (JSDA)	韓国	韓国金融投資協会 (KOFIA)	マレーシア	マレーシア証券業協会 (ASCM)	モンゴル	モンゴル証券業協会 (MASD)	ニュージーランド	ニュージーランド金融市場協会 (NZFMA)	フィリピン	フィリピン証券業協会 (PASBDI)	タイ	タイ証券業協会 (ASCO) タイ債券市場協会(ThaiBMA)	トルコ	トルコ資本市場協会 (TCMA)	ベトナム	ベトナム証券業協会 (VASB) ベトナム債券市場協会 (VBMA)	イラン	イラン証券取引仲介者協会(SEBA) *新規加入	シンガポール	シンガポール証券業協会(SAS) *新規加入
アジア	アジア証券業金融市場協会 (ASIFMA) 国際資本市場協会(ICMA)アジア太平洋地域事務所																																		
豪州	豪州金融市場協会 (AFMA)																																		
中国	中国証券業協会 (SAC)																																		
台湾	台湾証券業協会 (CTSA)																																		
インド	インド証券取引所参加者協会 (ANMI) ボンベイ証券取引所参加者協会 (BBF)																																		
インドネシア	インドネシア証券業協会 (APEI)																																		
日本	日本証券業協会 (JSDA)																																		
韓国	韓国金融投資協会 (KOFIA)																																		
マレーシア	マレーシア証券業協会 (ASCM)																																		
モンゴル	モンゴル証券業協会 (MASD)																																		
ニュージーランド	ニュージーランド金融市場協会 (NZFMA)																																		
フィリピン	フィリピン証券業協会 (PASBDI)																																		
タイ	タイ証券業協会 (ASCO) タイ債券市場協会(ThaiBMA)																																		
トルコ	トルコ資本市場協会 (TCMA)																																		
ベトナム	ベトナム証券業協会 (VASB) ベトナム債券市場協会 (VBMA)																																		
イラン	イラン証券取引仲介者協会(SEBA) *新規加入																																		
シンガポール	シンガポール証券業協会(SAS) *新規加入																																		

2. ASFの概要(2)

年次会合	毎年、各国持ち回りで、3日間(事前会合を含む)にわたって開催。内容は、主催者が基本的なテーマを定め、ホスト国のゲストスピーカーによる基本テーマに沿った基調講演、各国報告及び3～4のパネル・ディスカッションから構成される。各パネル・ディスカッションでは、2～3名程度のパネリストがそれぞれのテーマについてプレゼンを行った後、参加者全員で意見交換を行う。 本協会は、3年に1回程度日本で開催する旨第一回会合時に申し出ている。
会議の目的	情報交換・意見交換及びメンバー間の親睦
事務局	日本証券業協会が常設事務局を務めており、主催者と協力して会議を運営
費用	年会費無し
ASFセミナー	本協会の提唱により、2006年3月から「アジア証券人フォーラム(ASF)セミナー(2010年よりアジア証券人フォーラム(ASF)東京ラウンドテーブルとセミナーの名称を変更)」を開催している。 本セミナーは、アジア諸国における証券市場の発展と自主規制機関の育成を支援することを主たる目的として、アジア諸国の証券市場の自主規制機関等から研修生を招き、本協会が主催している。 本セミナーにおいては、我が国の証券規制及び証券市場の枠組みについて、本協会、規制当局、取引所、証券会社等による研修が行われる。

ASFの開催地

1995年	日本	東京	2006年	韓国	ソウル	2016年	フィリピン	マニラ
1996年	韓国	ソウル	2007年	フィリピン	セブ			
1997年	フィリピン	マニラ	2008年	香港	香港			
1998年	日本	神戸	2009年	オーストラリア	シドニー			
1999年	台湾	台北	2010年	中国	北京			
2000年	日本	東京	2011年	日本	大阪	(今後の予定)		
2001年	タイ	バンコク	2012年	インド	ムンバイ	2017年	日本	東京
2002年	中国	北京	2013年	台湾	台北	2018年	インドネシア	未定
2004年	インドネシア	バリ	2014年	タイ	バンコク	2019年	トルコ	未定
2005年	日本	京都	2015年	韓国	ソウル	2020年	インド	未定

3. 第22回 ASF年次総会（東京）会議プログラム（案） 2017年11月26～28日 於. ホテルニューオータニ



メインテーマ: Ways for building a sustainable future
(持続可能な未来を構築する)

(9/13 現在)

2017年11月26日(日)		会場
13:00-13:20	登録	Edo Room (1F)
13:20-14:20	ASFプレミーティング	
14:20-14:30	休憩	
14:30-16:30	IFIEアジアチャプター会合	
18:00-20:00	カクテル レセプション 歓迎挨拶 鈴木 茂晴 日本証券業協会 会長	
2017年11月27日(月)		
08:30-09:00	登録	鳳凰 東中 (1F)
09:00-09:10	歓迎挨拶 鈴木 茂晴 日本証券業協会 会長	
09:10-09:40	基調講演／ゲストスピーチ I 森 信親 金融庁長官	
09:40-10:10	基調プレゼンテーション ・アジア経済・証券市場の概観 吉野 直行 アジア開発銀行研究所所長	
10:10-10:25	休憩	

3. 第22回 ASF年次総会（東京）会議プログラム（案） 2017年11月26～28日 於. ホテルニューオータニ

2017年11月27日(月)		会場
10:25-11:40	マーケット・レポート I (10機関)	鳳凰 東中 (1F)
11:40-12:00	グループ写真撮影	ホテル中庭
12:00-13:30	昼食	鳳凰 西 (1F)
13:30-15:00	マーケット・レポート II (12機関)	鳳凰 東中 (1F)
15:00-15:15	休憩	
15:15-15:35	基調講演／ゲストスピーチ II： 清田 瞭 日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループCEO	
15:35-16:45	パネルディスカッション I： 変化する環境における最適な規制 モデレーター：ポール・ハンター 国際銀行協会 事務局長 パネリスト案：AFMA(豪州)、KOFIA(韓国)、PASBDI(フィリピン)、 ASCO(タイ)	
16:45-16:55	2018年ASF年次総会開催地の紹介：APEI(インドネシア)	
16:55-17:00	閉会挨拶	
	(ディナー会場へ移動)	
18:30-19:00	登録・カクテル	八芳園
19:00-21:30	ガラ・ディナー	

3. 第22回 ASF年次総会（東京）会議プログラム（案） 2017年11月26～28日 於. ホテルニューオータニ



2017年11月28日(火)		会場
08:30-09:00	登録	鳳凰 東中 (1F)
09:00-09:05	開会挨拶・紹介 鈴木 茂晴 日本証券業協会 会長	
09:05-09:30	基調講演／ゲストスピーチⅢ 黒田 東彦 日本銀行総裁(予定)	
09:30-10:25	パネルディスカッションⅡ： アジアの未来：持続可能な成長への証券市場の貢献 モデレーター：川村 雄介 自主規制会議委員/大和総研副理事長 パネリスト：根本 かおる 国連広報センター長 ICMA(アジア)、SAC(中国)、ANMI(インド)(依頼中)	
10:25-10:35	休憩	
10:35-11:30	パネルディスカッションⅢ： フィンテック 最新の状況 モデレーター案：未定 パネリスト：ASCM(マレーシア)、BBF(インド)、CTSA(台湾)(依頼中)	

3. 第22回 ASF年次総会（東京）会議プログラム（案） 2017年11月26～28日 於. ホテルニューオータニ



2017年11月28日(火)		会場
11:30-12:25	パネルディスカッション IV: 投資者の裾野を拡大する モデレーター案：未定 パネリスト：IFIE(投資教育国際フォーラム)、APEI(インドネシア)、 TCMA(トルコ)、MASD(モンゴル)、 NZFMA(ニュージーランド)、VASB(ベトナム)(依頼中)	鳳凰 東中 (1F)
12:25-12:30	閉会挨拶	
12:30-13:45	昼食	鳳凰 西 (1F)
14:00～	ポスト・フォーラム・プログラム	

以 上